

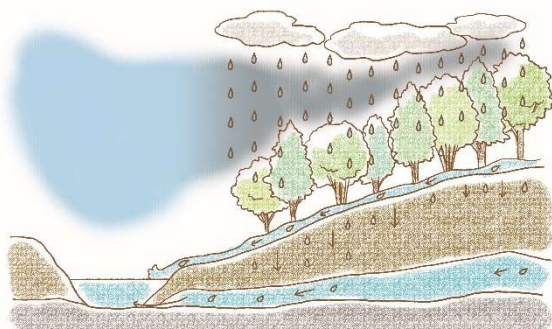
5章 計画の理念と基本目標

5-1 計画の理念

本計画では、集約型都市構造の実現に向けた取組みが市全体で進む中、緑が有する“社会基盤を支え人々の暮らしやまちの魅力を豊かにする力”を改めて見直し、市民が緑とともに営む暮らしを未来に繋いでいくことを目指し、以下を計画の理念とします。

緑とともに未来を歩む風格あるまち おかざき

- ・ 理念の策定に当たっては、第7次岡崎市総合計画の将来都市像「一步先の暮らしで三河を拓く中枢・中核都市おかざき」を踏まえ、緑は多様な機能を有し、「一步先の暮らし」を支える存在であることから「緑とともに未来を歩む」という言葉で表しました。
- ・ 同時に、本市の伝統や文化と一体となった緑をまちの誇りとして将来につなげていくことを「風格あるまち」という言葉で表しました。



1章
岡崎市緑の
基本計画について

2章
計画改定の背景

3章
岡崎市の緑を
取り巻く現状

4章
岡崎市の
緑の課題と
計画の方向性

5章
計画の理念と
基本目標

6章
緑の推進施策

7章
計画の
評価指標の設定

8章
計画の実現に
向けて

参考資料

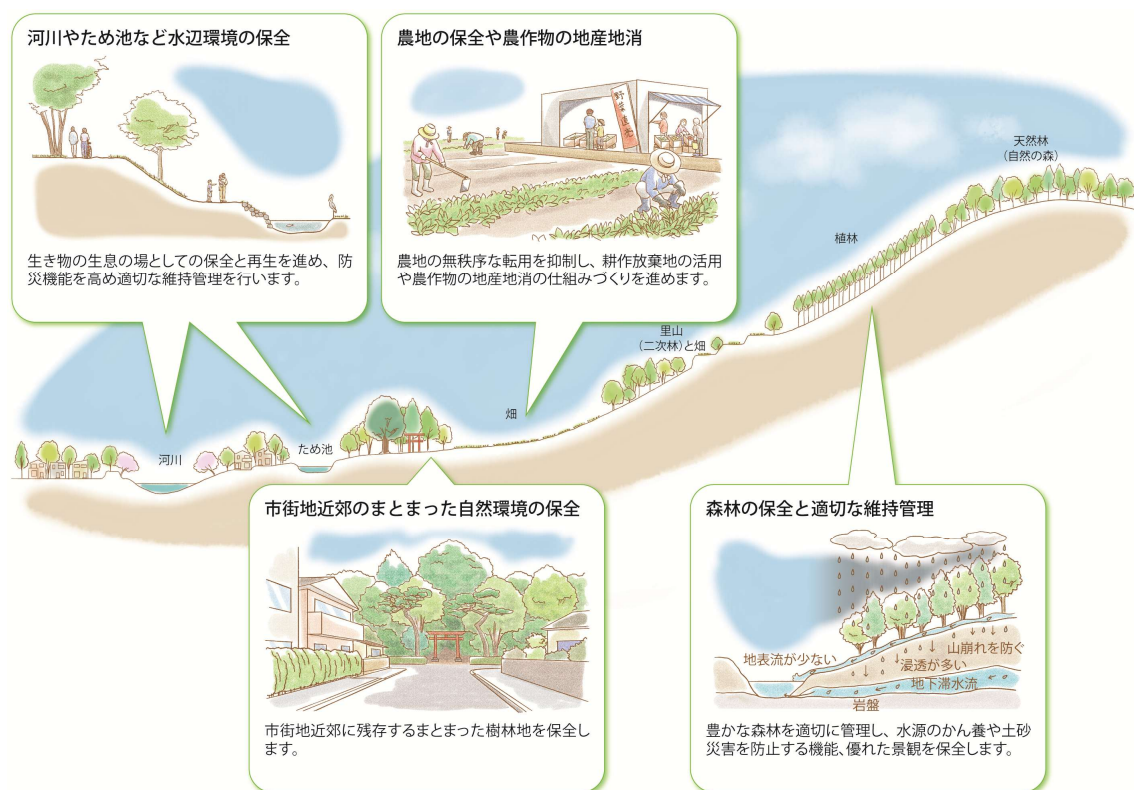
5-2 基本目標

「緑とともに未来を歩む風格あるまち おかざき」の理念を達成するために、4つの基本目標を定めます。

基本目標1

自然との共生の基盤となる健全で豊かな緑の保全

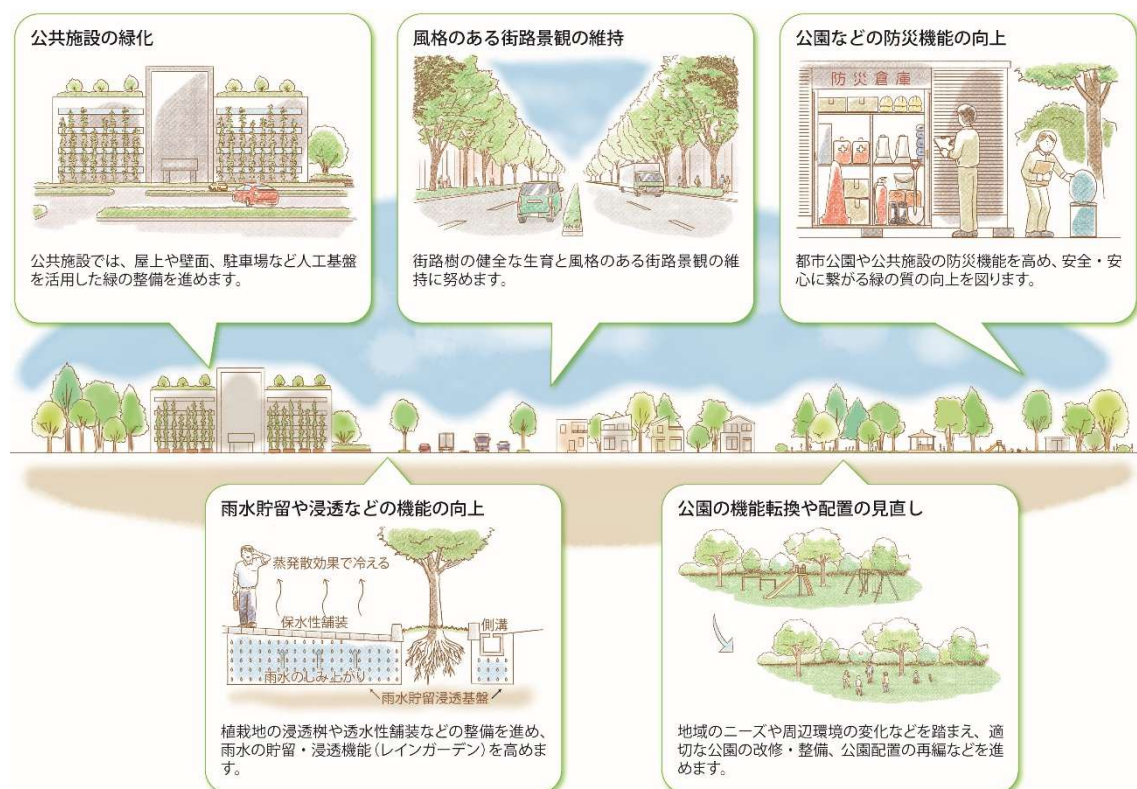
- 里地里山や奥山の森林、河川・ため池・湿地などの水辺、農地など多様な自然環境の緑を適切に保全するとともに、防災・減災や資源生産、水循環の維持、生物多様性の確保といった本市を支えるグリーンインフラとして将来にわたり健全な維持を図るため、地域資源の利活用をはじめとした取組みを推進します。



基本目標 2

安全で快適なまちづくりを支える緑の創出

- 市民が暮らしやすく安全・快適で質の高い住空間を支える都市のグリーンインフラを維持・創出するため、集約型都市構造への転換と連携し、都市緑化や適切な公園配置を推進します。



1章
岡崎市緑の
基本計画について

2章
計画改定の背景

3章
岡崎市の緑を
取り巻く現状

4章
岡崎市の
緑の課題と
計画の方向性

5章
計画の理念と
基本目標

6章
緑の推進施策

7章
計画の
評価指標の設定

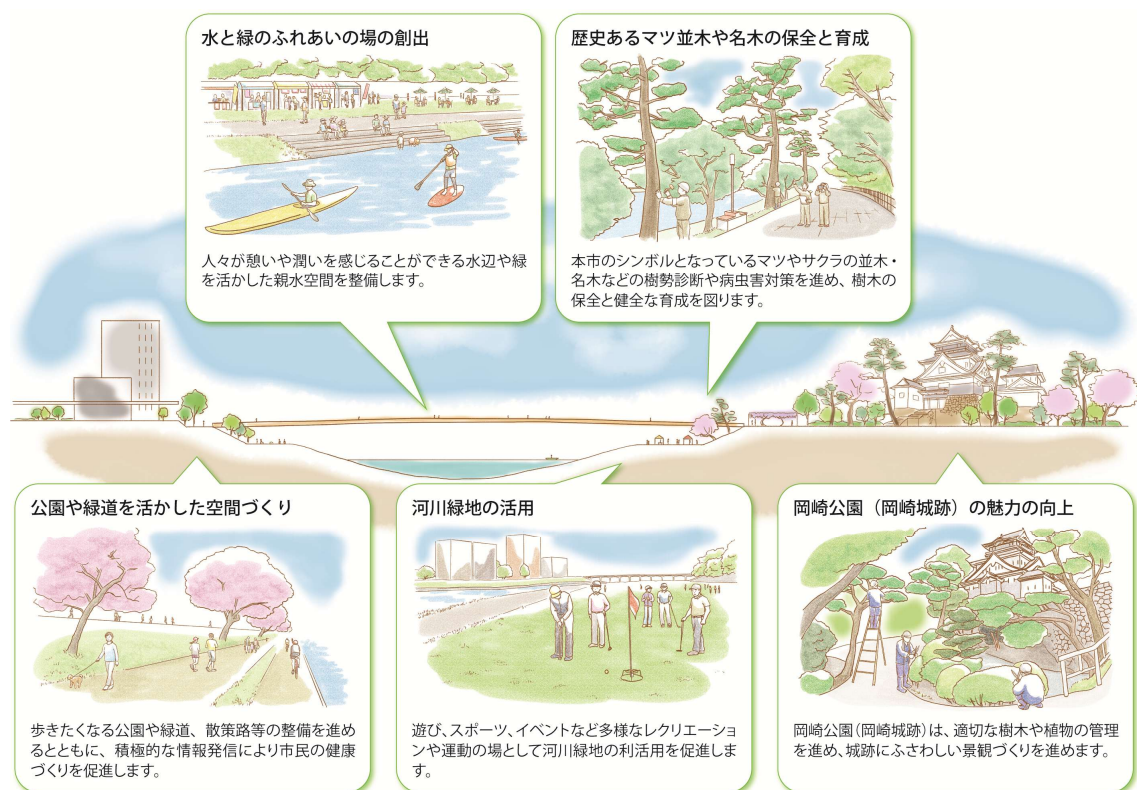
8章
計画の実現に
向けて

参考資料

基本目標 3

岡崎の歴史と文化、多様な魅力を支える緑の活用

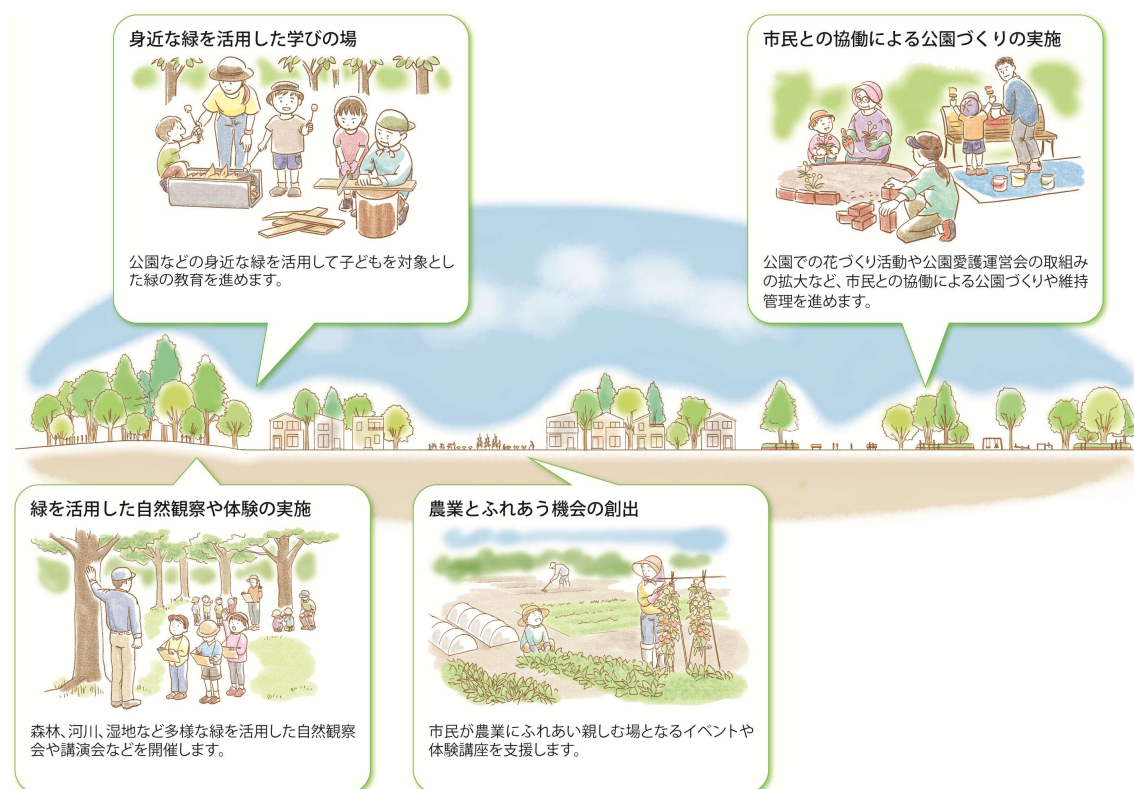
- 本市の歴史・文化・自然資源と一体となった特色ある緑や大規模公園など、内外に岡崎市の魅力を発信する拠点的な緑の価値をより一層高めるため、民間事業者との連携など多様な手法を取り入れた保全・維持管理・活用を推進します。



基本目標 4

人の繋がりと学びによる緑の育成

- 緑に関する取組みすべての基礎となる「市民の緑への関心や理解」をより一層高めるとともに、緑の創出・維持管理・保全・活用などあらゆる場で様々な主体が協力して持続可能な取組みを進めていくための仕組みづくりを推進します。



1章
岡崎市緑の
基本計画について

2章
計画改定の背景

3章
岡崎市の緑を
取り巻く現状

4章
岡崎市の
緑の課題と
計画の方向性

5章
計画の理念と
基本目標

6章
緑の推進施策

7章
計画の
評価指標の設定

8章
計画の実現に
向けて

参考資料

緑の基本計画基本目標とSDGsの関係

岡崎市は2020年にSDGs未来都市に選定され、SDGsの考え方を活用しただれ一人取り残さないまちづくりを進めていきます。

SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指すための国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「だれ一人取り残さない（Leave no one behind）」ことを誓っています。本計画においても改定に伴い、新たに設定した4つの基本目標とSDGsゴールの関連を明確化します。



図 5-1 SDGs の 17 のゴール

表 5-1 緑の基本計画と SDGs ゴールの対応関係

基本目標	対応する SDGs ゴール
1. 自然との共生の基盤となる健全で豊かな緑の保全	 飢餓を終わらせ、食糧安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する  全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する  気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる  陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
2. 安全で快適なまちづくりを支える緑の創出	 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する  気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる  陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
3. 岡崎の歴史と文化、多様な魅力を支える緑の活用	 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する  包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する  持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
4. 人の繋がりと学びによる緑の育成	 全てのの人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する  持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

1章
岡崎市緑の基本計画について

2章
計画改定の背景

3章
岡崎市の緑を取り巻く現状

4章
岡崎市の緑の課題と計画の方向性

5章
計画の理念と基本目標

6章
緑の推進施策

7章
計画の評価指標の設定

8章
計画の実現に向けて

参考資料

5-3 基本方針

4つの基本目標を実現するためにそれぞれ基本方針を定め、これらに沿って個別施策を定め取組んでいきます。

表 5-2 基本目標と基本方針の構成

基本目標	基本方針
1. 自然との共生の基盤となる健全で豊かな緑の保全	1 森林環境の保全
	2 市街地近郊に残存する自然環境の保全
	3 農地の保全
	4 河川やため池など水辺環境の保全
	5 貴重な動植物の生息環境の保全
2. 安全で快適なまちづくりを支える緑の創出	1 地域特性に応じた公園機能の向上と再編に向けた整備
	2 良質な都市の緑の創出と維持管理
	3 安全・安心に繋がる緑の質の向上
	4 市街地における水と緑のネットワークの形成
3. 岡崎の歴史と文化、多様な魅力を支える緑の活用	1 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
	2 水と緑のふれあいの場の創出と活用
	3 岡崎を代表する公園の魅力の向上
	4 魅力的なまちづくりに資する花と緑の活用
	5 健やかな暮らしを支える緑の活用
4. 人の繋がりと学びによる緑の育成	1 市民協働によるパークマネジメントの実施
	2 多様な主体が取組む緑のまちづくり活動への支援
	3 緑と暮らしを繋ぐ学びの場の提供
	4 緑への関心・理解の喚起